

議事録

名称	令和7年度 大島地区学校適正配置地元代表協議会 (第2回)
開催日時	令和7年12月17日(水) 19時00分～20時10分
開催場所	宮窪公民館 2階 会議室
出席者	【委員】 会長 外20名(教育長、副教育長を含む) ※1名欠席(宮窪地区主任児童委員)
	【その他】 吉海支所長、宮窪支所長
	【事務局】 今治市教育委員会、吉海地域教育課、宮窪地域教育課
傍聴者	—
議題	1 前回出た質問への回答について 2 学校小規模化による教育上の課題について 3 学校統合による学校・地域への影響について 4 意見交換

7 議事録(要点筆記) 文中(※)は補足した内容

事務局	会議録署名人を村上尚美委員、正岡宗昭委員に打診し、了解を得た。
会長	本日は、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。 ただいまから第2回大島地区学校適正配置地元代表協議会を開催いたします。
会長	それでは議事2(1) 前回出た質問への回答について、事務局からの説明を求める。
事務局	宮窪小学校のプール敷地がそのまま借地として残っているのか、という前回出た質問に回答する。 令和3年度、水泳授業が終了した秋以降に、宮窪小プール配管での漏水が判明して以降、施設の老朽度や使用頻度、管理経費などを考慮しつつ、解体の方向で検討を続けている。 借地については、現状復旧義務があるため、土地をお返しするためには解体し更地にする必要がある。現在、財源を確保した上で、出来るだけ早く処理できるよう市内部で検討中である。 子どもたちへの影響だが、吉海小学校・大島中学校が共同利用していた大島中学校プールについても令和3年度水泳授業が終了した秋以降にプールに不具合が生じている。そのため、令和4年度から大島島内の児童生徒は、吉海 B&G 海洋センターで水泳授業を行っている。 説明は以上である。

会長	この件について、何かあるか。
A委員	説明は理解した。今後の解体・更地について見通しがあるか。
事務局	計画を公表する段階ではないが、出来るだけ早く対応する必要性は、我々も認識している。公表できる時期が来たら、この会でお示しする。
会長	ありがとうございます。 それでは、議事２（２）学校小規模化による教育上の課題について、事務局からの説明を求める。 （事務局 資料１を説明）
会長	事務局からの説明が終了した。 この説明を踏まえて、学校の適正配置を考えるにあたり、皆さんの立場から問題点や課題と思われることについてご発言いただきたい。
B委員	小規模校のメリット・デメリットを聞いたが、統合しなければならないことや統合しても１クラスしかできないことは分かっているので、もっと先の話をした方がいい。私個人としては、小学校は宮窪小学校へ統合したらいいと思う。
C委員	その通りだと思う。メリット・デメリットの話をしたところ統合することは分かっている（必要である）ので、統合することを前提に話をしていきたい。
会長	今のご意見に対して内部協議したいので、一旦休憩とさせていただきます。 （暫時休憩）
会長	再開する。 資料２の説明を先に行った後、統合について賛成か、反対か、各委員のお考えを聞きたい。 （事務局 資料２を説明）

D 委員	資料 2 コミュニティ活動について、少年野球が灰色（廃止）になっているが、去年から宮窪小学校運動場を使用している。吉海小と統合した時に、野球の練習をする場所がどうなるかという課題もあるため、黄色（新規）で追加願う。
事務局	ご指摘のとおり、資料 2 を修正する。
A 委員	（資料 1 に関連して）学校には規模ごとの良さがあり、都会と田舎にもそれぞれの良さがある。重要なのは、地域・保護者・教職員・行政が力を合わせ、子どもを育てることである。 大島の良さを生かし、協力してより良い教育環境をつくることを望んでいる。
会長	耐震性について気になる点がある。旧耐震施設が、吉海町では老人福祉センター、宮窪町では公民館と認定こども園である。 この辺り、特に認定こども園について耐震強化などの動きはあるのか。
事務局	宮窪認定こども園は、今治市の中でも古い施設であり、吉海認定こども園に統合すると認識している。 統合することは決まっているが、どのように運営するかは教育委員会としては把握していない。
C 委員	市から説明は受けており、来年 4 月から吉海認定こども園に統合すると思っているが、通園アンケートの本文に来年度から統合すると書いていただけなので、正式な通知はまだもらっていない。
事務局	市の方針は新耐震基準を満たした安全な建物での運営を重視しており、今後は保育幼稚園課が地元と調整を進めていく予定である。
E 委員	資料 1 に関連して、（第 1 回資料 1 で示されたように）統合しても令和 12 年度以降すぐに複式学級となる可能性が高く、その点を踏まえて検討する必要がある。 また、認定こども園の統合については、小学校の次年度行事計画との調整が必要であり、園や保育幼稚園課と連携して進めたいと考えている。
事務局	認定こども園の統合は、新耐震基準を満たす吉海認定こども園で統合する方向で進んでおり、現在は統合準備段階にあると考えられる。 詳細な枠組みは保育幼稚園課の所管であり、教育委員会は把握してい

	ないが、基本的には統合に向けた準備が進行中であると認識している。
C委員	保護者は、認定こども園の統合に関して通園方法やバス運行などを早急に決定してほしいと望んでいる。来年度まで残り3か月しかないため、迅速な対応を望む。
事務局	小学校の統合準備は通常4年かけて進めるが、認定こども園の統合は1年という短期間で進めており、無理が生じている可能性がある。 今日の意見は保育幼稚園課に伝える。
C委員	よろしくお願いします。
会長	認定こども園の統合の件は早く進めてもらうことでお願いします。 委員の皆さんは早期に方向性を整理し、3回目以降は統合場所の検討が課題になると予測される。短期間での対応は難しく、吉海・宮窪両小学校で保護者の意見を広く聞く必要がある。また、第1回資料3 年次ごとの人数で0歳児が2人しかいないことに危機感を持っている。
D委員	発言途中だが失礼する。 子どもの人数減少は議論しても増えないため、現状の子どもに関する具体的な話を進めるべきと考える。過去の話や統合と関係ない質問は時間の無駄であり、必要な個別に調べてほしい。保護者は統合の決定に集中したい。無駄な質問・時間を割くことに強く疑問を感じる。
会長	内部協議したいので、一旦休憩とさせていただきたい。 (暫時休憩)
会長	再開する。 統合を前提に議論を進めるかどうか、賛成か反対か、委員の挙手で確認いたしたい。統合に向けて協議を進めてよいか、挙手願う。
D委員	この挙手で反対が多ければ宮窪小学校は残るのか。
F委員	反対数が賛成数より多ければ、このまま宮窪小学校に子どもを通わせることは出来るのか。 反対数が多いからといって、統合しないとの判断になるのか。

事務局	市の基本方針は4地区8校の統合を目標に協議を進めることである。 子どもの減少を踏まえ、島の子どもたちにとって、より良い教育環境を第一に考え、地域と協力しながら納得できる形で統合を目指したい。
会長	統合に向けて話を進めていくように委員各位には協力願いたい。 事務局から（議論の）たたき台を提示してもらえたらと思う。
C委員	統合に向けて話し合うにあたって、どちらの小学校にするのかをこれから話し合うということなのか。
事務局	第3回（次回）では統合案を提示し、それをたたき台として議論したいと考えている。 次回は具体的な案を示す機会を設けたいと考えている。
会長	ありがとうございました。 それでは、事務局からのたたき台を踏まえて話し合いをする、ということでしょうか。
	（一同 了承）
G委員	統合場所の検討にあたり、耐震性や防災リスクだけでなく、海抜・高潮・地震時の軟弱地盤などの安全性を十分考慮すべきと考える。 昔から地震の際には必ず宮窪の方が吉海より震度が低い。特に吉海と宮窪の地盤や過去の災害履歴を踏まえ、計画（たたき台）に反映してほしい。
会長	ここまでの皆さんの意見を反映して、次回あたりにシミュレーションを示していただいた上で会を進めていきたい。
事務局	統合協議会は今後も継続し、統合を目標に前向きな議論を進めたい。 大島という1つの地域での小学校のあり方を考え、統合の結論を出してほしい。閉校する地域の通学や児童クラブなどの課題は、児童に負担がないよう市が調整するので安心してほしい。
I委員	宮窪小学校に統合する案、吉海小学校に統合する案として資料を次回提示いただけるのか。
事務局	具体的に、この学校で統合すればこういう形になる、というシミュレ

	ーションをした資料を提示する。
I 委員	例えばバスの時間であれば、吉海小学校に（統合）する場合、一番遠い友浦便は何時出発なのか、その辺りまで提示いただけるか。
事務局	はい。そういった内容にしたいと考えている。 場合によっては、学校の開始時間などと連動するかもしれない。その辺りは皆様の意見を聞きながら調整していけたらと考えている。
会長	それでは次回、具体的な資料を提示し、その内容を踏まえて話し合っていきたい。 事務局から何かあるか。 （次回 日程調整）
会長	次回は2月2日月曜日午後7時から吉海学習交流館での開催とする。 それでは、以上で本日の協議を終了させていただく。 長時間にわたりご協議いただき誠にありがとうございました。 これを持ちまして、第2回大島地区学校適正配置地元代表協議会を閉会する。

以上、会議の次第を記し、その相違ないことを証するため署名する。

令和8年 / 月 日

村上（尚）委員 村上 尚美

正岡 委員 正岡 宗昭